低炭素建築物の認定基準

(1) 建築場所が市街化区域等であること。

(2) 定量的評価項目

- ・空調、換気、照明、給湯などの設備によって消費される一次エネルギー消費量が、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律に基づく基準に比べ、20%以上低減されたものであること。
- ・断熱性能について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく基準に適合していること。

(3) 選択的項目

省エネルギー性に関する基準では考慮されない低炭素化に資する措置等下記8項目のうち、2項目以上を講じていること。

1. 節水に役立つ設備機器を設置
2. 雨水、井戸水または雑排水を利用する設備を設置
3. HEMSの設置
4. 再生可能エネルギーを利用した発電システム、それと連携した定置型の蓄電池を設置
5. 緑化など一定のヒートアイランド対策をしている
6. 住宅の劣化の軽減措置を実施
7. 木造住宅
8. 高炉セメントなどを構造耐力上主要な部分に使用している

(4) 再生可能エネルギー利用設備の導入（必須項目）

(5) 計画に記載された事項が基本的な方針に照らし適切なものであること。

(6) 資金計画が適切であること。